

授業科目名(英文名) ／Course Title	富山学		
担当教員(所属)／Instructor	奥 敬一(芸術文化学部)		
授業科目区分／Category	教養教育科目 総合科目系		
COC+科目／COC+Course	地域志向科目	授業種別／Type of class	講義科目
開講学期曜限／Period	2019年度／Academic Year 前期・その他	対象所属／Eligible Faculty	教養教育科目
時間割コード／Registration Code	101702	対象学年／Eligible grade	1、2、3、4年
ナンバリングコード／Numbering Code	1X1-00041-2500	単位数／Credits	2単位
オフィスアワー(自由質問時間) ／Office hours			
リアルタイム・アドバイス／Real-time advice	更新日		
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)／Course Objective			
<p>「富山県」という地域が、どのような自然的・文化社会的基盤の上に成り立ってきたのか、その過去・現在・未来について理解を深める。またそのことを通じて富山県が世界や日本の中でどのような独自性・固有性を打ち立てているのかを理解し、地域の課題解決や活性化に向けて学生自らが考え、行動する意識を持つようになることを狙いとする。</p> <p>本講義は「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)：富山全域の連携が生み出す地方創生」におけるカリキュラム改革の一部として開講し、地域志向科目群のひとつとして、未来の地域リーダー育成に資する。</p> <p>各分野での実務経験を有する学外者を講師(ゲストスピーカー)として招き、その実務経験を踏まえ、より実践的な講義を提供します。</p>			
達成目標／Course Goals			
<ul style="list-style-type: none"> <li>富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。</li> <li>フィールドワークや地域のひとびとの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。</li> <li>富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。</li> </ul>			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)／Class schedule			
<p>1. ガイダンス (1～3回 9月3日 2限～4限) 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項</p> <p>2. 富山の自然基盤(水循環) 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ</p> <p>3. 富山の自然基盤(植生) 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する</p> <p>4～7. 富山の自然基盤(地形)【4時間分】(9月第2週 1限～4限) 立山現地見学 室堂周辺 現地講師(予定)：環境省立山自然保護官事務所自然保護官ほか</p> <p>8～11. 富山の生活文化【4時間分】(9月17日 1限～4限) 庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク(世界遺産を維持するための取り組みと茅場管理体験)～砺波平野散村景観の文化的価値について 現地講師(予定)：五箇山自然文化研究会会員</p> <p>12. 富山の自然と文化の関わり(12～15回 9月24日 2限～5限) 富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する</p> <p>13. 富山の歴史と文化(山の文化と信仰) 立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。</p> <p>14. 富山の歴史と文化(海の文化とネットワーク) 日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。</p> <p>15. 総括 フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ</p>			
授業時間外学修(事前・事後学修)／Independent Study Outside of Class			
事前学修：富山県内の各自治体の地理的、社会的な特徴と現在抱える問題点等について学修する。			
事後学修：富山の自然、歴史文化に関する独自性・固有性についての理解を深める資料等を提示するので、フィールドワークで得た体験をもとに富山県の将来像についてアイデアをまとめる。			
キーワード／Keywords			
富山県、自然基盤、生活文化、防災、住環境、立山連峰、庄川流域、実務経験教員科目			
履修上の注意／Notices			
野外活動を伴うので、そのための適切な服装などを準備する必要がある。詳細は1回目のガイダンスにて説明するが、運動や作業をしても蒸れないレインウェアや、滑りにくい靴、作業用の手袋等は必須であり、各自で用意してもらうので注意すること。			
教科書・参考書等／Textbooks			
講義に関連する文献、より深い理解のために推奨する文献については、適宜紹介する。			
成績評価の方法／Evaluation			
授業や実地見学への参加態度(20%)、講義中に課す作業シート(20%)、および講義の節目や実地見学等の際に課すレポートの内容(60%)によって評価する。			
関連科目／Related course			
リンク先 URL／URL of syllabus or other information			
備考／Notes			